会議開催結果概要書

1 審議会等の名称	市立岸和田市民病院地域医療支援委員会
2 開 催 日 時	令和元年5月9日(木)午後2時から午後2時50分まで
3 開 催 場 所	市立岸和田市民病院 3階講堂(前)
4 公開・非公開の別	(公開・非公開)
5 非 公 開 理 由 (非公開の場合のみ)	
6 出 席 者	委員 9名、事務局 12名、その他() 名
7 傍 聴 人 数 (公開の場合のみ)	0名
8 議題及び審議概要	 【議事概要】 用会 永野岸和田市長代行小山副市長より各委員に委嘱状及び任命状を公布した。 岸和田市長挨拶を小山副市長より代読いただいた。 委員長及び副委員長の選出について、全会一致で中山委員が委員長、久禮委員長より就任の挨拶がなされた。 会議冒頭において、委員会名簿をもとに4月1日付けの人事異動に伴い関係職員及び事務局の異動について報告を行った。 案件(1) 地域医療支援病院業務報告(平成30年度)について地域医療支援病院制度の概要、平成31年1月から3月の実績並びに平成30年度実績について事務局より説明。委員長:本報告についてご意見ご質問はないか。委員長:本報告についてご意見ご質問はないか。 事務局:院内に医療図書専用の図書室を設けており、登録医であれば院内スタッフと共に利用できる。図書司書を配置し、図書の貸出も可能である。委員長:他にご意見ご質問はないか。各委員:なし委員長:ご意見なしということで、本案件を了承する。

案件(2)市立岸和田市民病院からのご案内について

平成31年4月の人事異動(脳神経外科部長)、 4・5月における10連休期間中の体制について委員より説明

委員長:本報告についてご意見ご質問はないか。

各委員:なし

委員長:ご意見なしということで、本案件を了承

する。

委員長:他にご意見ご質問はないか。

委員 : 昨年の台風や今後予測される大地震の

様な災害に対する非常用電源はどのよ

うになっているのか。

事務局:非常用電源は軽油発電機が3機、ガス発電機が1機ある。空調を賄うまでの電力は無いが、生命維持装置や手術室等の主要な部門の電源を賄う電力を発電できる。軽油タンクはそれほど大きくないので、継続して発電するためには1日一度程度の給油が必要であり、そこは

課題であると考えている。

委員 :給油無しで何時間程度の発電が可能な

のか。

事務局:発電機の使用状況により一概には言えないが、フルパワーで稼動させると半日程度と考えている。ガス発電機は供給が途切れない限り発電可能であるが、エンジンをある程度抑制して節電しつつ対応することによって一日弱程度の電力を賄えると考えている。その間に燃料補給依頼等を市本部等に手配したい。老朽化の指摘があり工事の課題もある。

委員 :市民病院にしては頼りない気がするが。 また、発電機等は使用していなければ、 本当に使用しなければならない時に劣化 していて使えない、ということがある。

事務局: 点検は行っている。

委員 :昨年の台風が無ければ気が付かなかった。台風の影響で停電になり、市役所もろうそくで対応したということも聞き、考えられないようなことが起こった。特に病院はそんなことがないようにきちんと体制を整えてほしい。対策を依頼すると予算の問題や検討する等の回答で先延ばしにされることも事い。いざと言う時の病院としての物理的な体制が貧弱なように感じられる。

事務局:メンテナンスは業者に依頼して実施している。当院は平成8年に建築され23年経過するので、省エネで発電できるようなものに置き換える等の発電機の更新を考えている。

委員:計画はしているのか。

事務局:2~3 年で設計をしていきたいと考えて

いる。

委員:ぜひ予算を付けていただいて欲しい。

それと出前講座については、市役所の 各部署の中で講座数も多く一番熱心に 行っている市民病院に感謝している。

今後共ぜひ継続していただきたい。

委員 :昨年の台風 21 号は感慨深いものがあっ

た。今まで定期的に地震を想定した大 規模災害訓練を実施してきたが、台風 での被害を想定したものは実施してい なかった。幸い病院の周囲では台風 21 号による大きな被害は出なかったが、 地震や台風等の災害対応は非常に重明 である。当院では毎年、年間の な課題である。当院では毎年、年間の ひとつに大規模災害対策をしっかり でるという項目を挙げている。危機管 理委員会を中心に目標に向かって力を

入れていく。

委員長:他にご意見ご質問はないか。

委員 :医師不足ということで、市民病院の医師

や看護師等大変頑張っていただいていることは良く理解しているが、余裕がなく患者さんに接しているなかで、病院側に都合が悪くなると他院へ紹介される、ということがあったと聞いた。本当ならばすごく不安に感じる。また、患者図書室において、完全ボランティアで運営しており、市民の方々が参加していることに

すばらしい事だと感じている。

委員:ボランティア活動については、大変頑

張っていただいており、非常に助かっていると感じている。ボランティア活動の内容について提案を受けた時、今までは何でもお願いします、と受け入れてきたが、それが患者さんにとって本当に必要な活動なのかを考えなくてはいけない時代に少しずつ変わってきたとも感じている。どういう活動をお願いすべきなのかをボランティアさん

と一緒に相談していきたい。

委員 : 患者図書室は常設であるか。

委員 : そうである。

委員 : その部屋で知り合い同士が長時間話を

しているみたいだが、患者さんの利用

を促したりしているのか。

事務局:図書ボランティアは数名おられ、曜日

や時間等都合の良いタイミングで活動 していただいている。患者さんやご家 族が図書室で本を探している時に、そ の方と色々なお話をされていると聞い

ている。

委員 :病院としてはとても助かっているの

か。

事務局:とても助かっている。患者図書室の立

ち上げについて、運営を院内の図書司書に協力をしていただこうとも考えたが、一名体制のため難しく、図書ボランティアを募集した。当初は人数が集まらず、図書室を休室していた時もあったが、徐々に人数が増え、毎日開室できるようになった。とても助かって

いる。

委員長:他にご意見ご質問はないか。

委員 : 公立病院は経営が難しいと一般に言わ

れている。当院の経営はどうなのか、 ということを見て頂くために年間決算 を次回にはお示しし、ご意見を頂きた

いと考えている。

委員長:他にご意見ご質問はないか。

事務局:5月14日から16日の3日間、10時30

分から12時まで、1階初診再診受付の 前で、看護フェアを開催する。興味が

あれば参加いただきたい。

委員長:他にご意見ご質問はないか。

委員 : 女性の市民の方や開業医の声として、

市民病院での受診の際に血圧や身長体 重を計測するが、身長体重計は同時に 計測でき、それらの数値が表示された ままになっていると聞く。それが外来 の多くの方の目に触れる場所で計測す るため、特に女性の方が、体重が表示 されたままになっていることが非常に 気になるため、対策はできないもの

か、と相談されるのだが。

委員:身長はいいが、体重はやはり気にな

る。

委員:血圧も病院にいるのだから、ある程度は許せるところはある。印刷された紙をちぎるとすぐに表示が消えるといいのだが、ある程度の時間表示されている。よく意見を聞くし、プライバシーもデリカシーも無いと言われたこともある。何か対策をお願いしたい。

事務局:以前の本委員会にて、血圧計の表示について のご意見を頂戴し、調べたところ表示時間を短 く出来ることがわかり、対応させていただい た。その時身長体重計についてはご意見が無か ったので、調べていなかった。また調べておき たい。

事務局:サービス委員会でも同様の意見があり、調べたところ、表示時間を短くしての現状であったと記憶している。

委員: 身長は気にならないが、体重は対策をお願い したい。

事務局:サービス委員会の内容を確認して、可能であれば対応する。

委員長:他にご意見ご質問はないか。

委員: この委員会に関係があるかわからないが、院外処方箋を持って調剤薬局で引き換える時、改めて保険証の提示を求められる。病院でも保険証を提示しているのに、再度提示をしないといけないものなのか。

委員:調剤薬局では必ず保険証を提示しないといけないという義務はない。ただし確認のため、提示を求める場合はある。

委員:病院で提示して、再度調剤薬局でも提示しないといけない、と。

委員 : そういう場合もある。

委員長:他にご意見ご質問はないか。

委員: 院内のレストランは業者が変わったのか。 事務局: 2年程前に変わっている。5年に一度業者選定 があり、プロポーザルしていただいて決定して

いる。

委員長:他にご意見ご質問はないか。

各委員:なし。

委員長:その他の案件をご理解いただいたということ

でよろしいか。

各委員:よろしい。

委員長:本案件を了承する。

事務局:令和元年度第2回委員会は令和元年8月8日(木) に開催を予定している。

5. 閉会

様式第1号(第6条関係)

その他				
	ユ	σ	/uh	,
	~	0)	1111	1